



津山の人・物・技術  
など、明日誰かに自慢  
したくなる津山のいい  
ところを紹介します

16  
つやまじまん

ええとこ  
いっぱい

津山 自慢

## 津山市地域おこし協力隊 岡 誠さん（山北）

岡山市出身。高校を卒業し東京の企業に就職後、岡山市へ帰郷。接客業で店長職を経験する。テレビ番組で地域おこし協力隊の存在を知り、奈良県内で協力隊として活動。令和3年10月から津山市地域おこし協力隊として活動中。40歳。

### 祖父母の家を守りたい

両親が津山出身で、久米地域に住んでいた祖父母の家によく遊びに来ていました。祖父母が亡くなり空き家になりましたが、思い出の残る家を守りたいと思っていた時、津山市地域おこし協力隊の募集を知りました。人と接することが好きで、接客業や協力隊としての経験を活かし、いつか祖父母の家を使って、人が集まる場所を作りたいと考え、応募しました。

### 地域のひととのふれあいを大事に

城西まちづくり協議会に所属し、イベントの企画、補助、情報発信、空き家の活用方法を考えるなど、地域の活性化に取り組んでいます。城西地区のまちづくり活動や行事に参加することで、地域の皆さんとの距離がどんどん近付き、楽しい毎日です。

ほぼ毎月開催しているワークショップのために、作州民芸館（西今町）の空き部屋を整備しました（写真下）。部屋を見た人から「イベントが無い時は、新しく置いたモニター



で城西の紹介動画を流しては」と提案があり、動画を作成することにしました。城西若僧会（じよせにょそうかい）の皆さんなどにも協力してもらい、お寺や地域の民芸品など、まちの魅力を伝える動画を流す予定です。

### 人が長くどどまるまちへ

城西地区をじっくりと回ったことがなく、車で通り過ぎてしまう人が多いという話を聞きました。ゆっくり散策してまちの魅力に触れて欲しいと思い、城西地区の雑（ひら）めぐりに合わせ、3月18日～27日に津山城下町歴史館（田町）のライトアップを企画しました。使用する竹灯籠（たけとうろう）は手作りです。

また、城西地区にある空き家の調査を進めています。重要伝統的建造物群保存地区内だけで、人が住んでいないと思われる家が20軒以上あることが分かりました。持ち主の考えも確認しながら、今後、観光客向けの飲食店や交流の場など、城西地区が更ににぎわう活用方法を、地域の皆さんと一緒に考えていきたいです。



▶参加者と一緒に紙漉きに挑戦

## つぶき やまき 編集室

津山自慢で取材した岡さんから、車で通るだけでは気付けないまちの魅力の話を聞きハツとしました。普段の移動はほとんど車。目的地以外では車から降りないこともしばしば。暖かい日が増えてきた今、商店街や城東・城西地区の雑（ひら）めぐり、さくらまつりなど、春の津山を歩いて散策したいと思います。（☆）

子ども頃から数え切れないくらい訪れている、津山城のさくらまつり。お城山の桜ソメイヨシノというイメージが強かったのですが、神代曙（かみしろ）関山、陽光など13種類もあるそうです。咲いている場所も、分かりやすい所から見逃しそうな所まで、さまざま。どこに咲いているか、ぜひ探してみてください。（☆）

26ページの取材のため、郷土博物館に行きました。3階建ての小さな建物で、かつての市役所だったことが今でも信じられません。アマチュア無線よりも便利な物が増えましたが、物質の進化したともに世の中が多様化、複雑化して市の業務が増えました。郷土博物館を訪れるたびに、不思議な感覚になります。（三）

☎ 0868-32-2029  
☎ 0868-32-2152

✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報津山は、環境保護のため再生紙・植物性インキを使用しています。読者のみなさまは、リサイクル（資源）にご協力ください。

広報津山  
電子版

津山市公式  
フェイス  
ブック



津山市公式  
LINE



津山市公式  
インスタ  
グラム

